

営業本部

営業第四部 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル ☎03-5288-8417

大阪支店 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-8-29 テラサキ第2ビル ☎06-6350-1121

福岡支店 〒812-0026 福岡市博多区上川端町12-20 ふくぎん博多ビル ☎092-281-4666

ご用命は

保管・取り扱い上の注意

1. 貼り付け面は、さび、ごみ、繊維、洗剤、油分、水滴などを取り除いてください。
2. 貼り付け面側は極力素手で触らないようにしてください。薄いゴムやポリエチレン製の手袋の着用を推奨します。
3. アルミ防湿パックを開封すると、空気中の水分と反応して硬化が始まります。開封後は目安として30分以内に使い切ってください。再度保存することはできません。

安全・衛生上の注意事項

1. 未硬化状態のポリマエースは、皮膚刺激性を有するので、皮膚・粘膜に付着しないように、ゴム手袋、安全めがねなどの保護具を着用ください。皮膚に付着した場合、ウエスなどで拭き取ってから、直ちに流水で十分に洗い流してください。万一目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。また、コンタクトレンズ着用者は、誤って目に入った場合、目に固着することがありますので、特にご注意ください。
2. 硬化時にメチルエチルケトオキシム (MEKO) を発生しますので、取り扱いの際には換気を十分に行い、蒸気の吸入を避けてください。蒸気の吸入の恐れがある換気の悪い場所での使用は避けてください。もし、蒸気を吸入して気分が悪くなったときは、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動してください。
3. 子供の手の届かないところに保管してください。
4. 使用前には安全データシート (SDS) をお読みください。SDSは担当営業部署までご依頼ください。

- このカタログに記載されているデータは、規格値ではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうか確認してください。
なお、ここで紹介する用途や使用方法などは、いかなる特許に対しても抵触しないことを保証するものではありません。
- 当社のシリコン製品は、一般工業用途向けに開発されたものです。医療用その他特殊な用途には絶対に使用しないでください。
- 本カタログに記載されている信越ポリマー及び信越ポリマー製品の名称は、当社又は当社の子会社・関連会社の有する登録商標、もしくは商標です。
- その他記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。
- 本製品の記載内容は、予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本パンフレットの記載情報を許可なく複写・模倣・流用・転載することを禁じます。

インフラメンテナンス用資材サイト



シンエツシリコンゴム製品

**シリコン接着シート
ポリマエース**



ポリマエースは、防水性と防食性を併せ持つ貼り付けるだけで簡単に施工ができるシリコン接着シートです。

ケイ石を還元した金属ケイ素を化学反応することで作り出される《シリコン》は、広い温度領域でもゴム弾性を失わず長期間にわたって性能を維持できます。紫外線にも強く、風雨にさらされても物性は殆どかわらないので屋外やサビが発生しやすい箇所への使用に最適です。

西表島での屋外暴露試験



ポリマエース® 被覆 腐食無し | 亜鉛メッキ塗装 腐食小 | 処理なし 腐食大

接着
粘土状のポリマエースが被着体に張り合わせた後、空気中の水分により硬化し被着体に接着します。硬化後はゴム弾性を発現します。



P-VAC工法
複数のボルトナットを一度に施工可能

主な用途

土木関連分野

- ・高架橋遊間目地の漏水防止
- ・貯水槽内壁補修・漏水防止
- ・ボックスカルバート繋ぎ部分の漏水防止
- ・U字溝目地の漏水防止
- ・鋼構造物、ボルト、ナット、コンクリート鉄筋露出部等の防錆
- ・アスファルトと縁石等の隙間から発生する雑草の抑制

建築分野

- ・施設の漏水補修 (屋外屋根防水、笠木、壁クラック、配管貫通孔防水)
- ・キッチンステンレスシンクと人工大理石板の止水
- ・ガラス、アルミとの止水

その他

- ・RFID、各種センサーの固定、フランジパッキン、配管防食

ポリマエースの特性

耐熱温度	-50℃～+200℃
耐候性	超促進耐候性試験 (メタルウエザー) 600時間で外観変化なし
絶縁性	絶縁破壊強さ 25KV/mm
耐薬品性	優れた耐薬品性 ※強酸、強アルカリ、有機溶剤を除く
難燃性	鉄道車両用材料燃焼試験 判定：極難燃性
防食性	CCT試験 10,000時間 (25年相当)
安全性	水道用資機材の浸出性能基準適合 食品、添加物等の規格基準適合 VOCフリー、PFASフリー
再施工性	カッターやへらで簡単に剥離、切断可能
透明性	クリアは透明で被着体の確認可能

※製品により特性が異なる場合があります。

腐食防止 ▶ 鋼構造物・配管

漏水補修 ▶ 配管・タンク

劣化防止 ▶ コンクリート構造物・ケーブル

亀裂補修 ▶ 道路・水路・舗装面

シリコン接着テープ

ポリマエースPA

テープ状のポリマエースです。シリコシートADのエッジ封止や、コンクリートクラックなどの止水テープとしてご使用ください。



防水・防食用シリコン接着シート

ポリマエースUG/PG

シート状のポリマエースです。用水路などのU字溝目地からの漏水補修ができます。コンクリート、アスファルト、金属や塗装面にも接着し、橋梁や鋼管柱地際の腐食を長期的に防止します。



ICタグ、センサ固定用シリコン接着テープ

ポリマエースTG

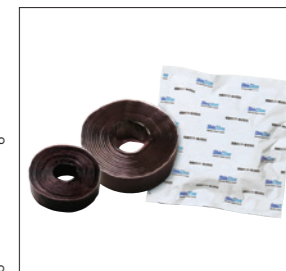
短いテープ状のポリマエースです。ICタグやセンサーなどの固定に使用しやすい使い切りサイズを設定しました。



防草用シリコン接着テープ

ポリマエースBS

アスファルトとコンクリートの継ぎ目などに生えてくる植物や雑草の生長を長期的に防止します。新技術情報提供システムNETIS TH-240003-A防草用シリコン接着テープ「ポリマエースBS」貼付け工法として登録しています。



製品仕様 *数量に応じてカスタム対応させていただきます。

呼称	サイズ	カラー	構造	
PA	t2mm × W25mm × L3m	グレー	<ul style="list-style-type: none"> セパレータ (ピンク) 本体：厚さ約2mm シリコンパテ状物 	
	t2mm × W25mm × L3m	クリア		
BS	t2mm × W25mm × L3m	ブラック		
	t3mm × W35mm × L3m	ブラック		
UG/PG	t2mm × W120mm × L450mm	グレー		<ul style="list-style-type: none"> セパレータ (ブルー) 本体：厚さ約2mm シリコンパテ状物 セパレータ (ピンク)
	t2mm × W120mm × L450mm	クリア		
TG	t2mm × W25mm × L75mm	クリア		
	t2mm × W25mm × L150mm	クリア		

物性

ゴム硬化前性状	粘土状	ゴム硬化後	試験項目	測定値	備考	養生条件
			物性	硬度	45	
引張強度	5.4 MPa	JIS K 6249 3号ダンベル				
伸び	730 %	JIS K 6249 3号ダンベル				
接着力			引裂き	16 N/mm	JIS K 6249 アンブル型 (切込み無し)	23℃, 50%RH 14日間
			ISOモルタル	1.8 N/mm ²	垂直剥離、プライマー MT塗布	
			亜鉛メッキ	1.5 N/mm ²	垂直剥離、プライマー AQ-1塗布	

PA専用プライマー *プライマー使用で強くに接着します。

モルタル用	250g/缶	標準使用量	200g/m ²
金属用		標準使用量	50g/m ²

護岸の車止めの塩害対策

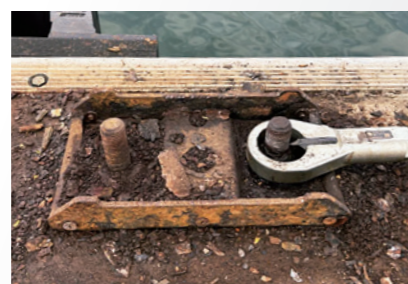
適用 アンカーボルト・ナットの塩害対策

分類 防食

全景



施工前



施工後



架構地際部とアンカーボルトナットのフルカバー防食

適用 地際部鋼材のフルカバー防食

分類 防食

全景



施工前



施工後



駅ホーム鋼管柱の地際防錆補修工事

適用 駅ホーム鋼管柱の地際防錆補修

分類 防食

全景



施工前



施工後



駅鉄柱の防食とSUS架台シール補修

適用 駅鉄柱の防食とSUS架台シール補修

分類 防食、漏水(シーリング)

全景



施工前



施工後



シャッターカバー部 防食・防水工事

適用 シャッターカバー部 防食・防水工事

分類 防食、防水

全景



施工前



施工後

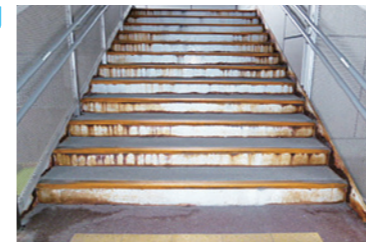


駅階段の防食施工

適用 駅階段の防食施工

分類 防食

全景



施工前



施工後



床版 ひび割れ、目地 漏水補修

適用 床版 ひび割れ、目地 漏水補修

分類 漏水(ひび割れ、目地)

全景



施工前



施工後



役所広場前防草工事

適用 舗道の防草工事

分類 防草

全景



施工前



施工後





止水

U字溝クラック補修



防食

コンクリート剥落部の鉄筋防食



止水

PE散水管貫通孔の漏水補修



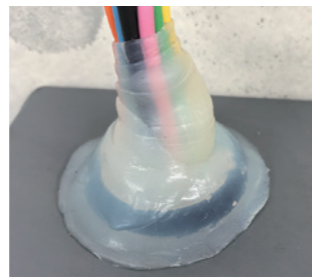
止水

屋上防水の漏水補修



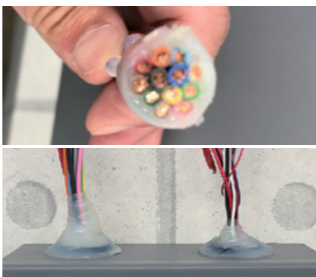
その他

工具等へのRFID固定



止水

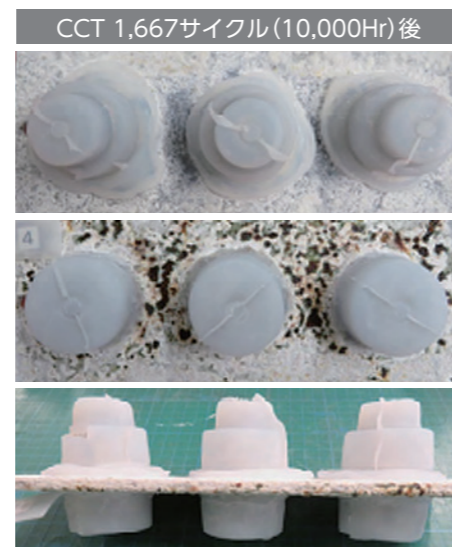
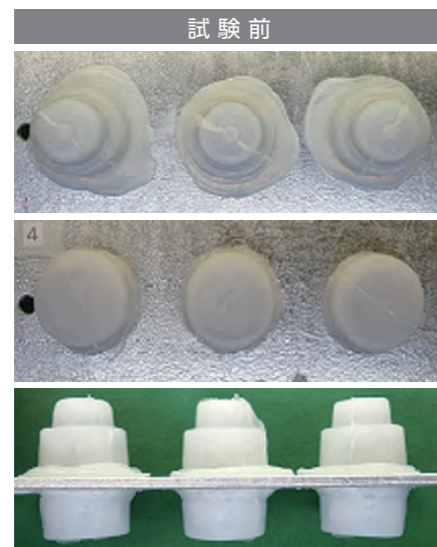
配電盤貫通孔と配線の止水



ポリマエースの防食性能

溶融亜鉛めっき処理した試験体のボルト・ナット部にポリマエースを被覆し、複合サイクル試験 (CCT) を下記条件で行った結果、溶融亜鉛メッキを超える防食性能が確認できた。

- 条件：JIS K 5600-7-9 サイクルDに準拠 (1サイクル/6時間)
- 1,667サイクル (10,000時間、約25年相当)



下地調整、清掃

被着面は下金属ブラシや高圧洗浄機等で3種ケレン程度に処理します。砂、屑や汚れを除去した後にウエス等で水拭きします。

注：金属（屋根）の場合は被着面以上に研磨しないこと



プライマー塗布 [1]

被着面が乾いたことを確認します。専用プライマーを適量容器に入れ、被着面に刷毛等で塗り残しが無い様に均一に塗布します。

注：塗付後、指触乾燥のこと (10～30分)



プライマー塗布 [2]

マスキングテープを使用することにより、プライマーのはみ出しを防ぐことができます。



貼り付け 開封後30分以内に施工すること

PAの場合は、ピンクのセパレータを付けたまま端部から貼り付けます。UG/PGの場合は、ブルーのセパレータを残し、ピンクのセパレータを剥がし、端部から貼り付けます。



圧着

ポリマエースをローラーや指で圧着し、気泡を抜きます。端部はローラーや指で圧着し、厚みが半分程度になるまで押し潰します。



セパレーター剥離

表面のセパレータを180度方向にゆっくり剥離し、完了です。

注：上方向には剥離しないこと

接続(重ね合わせ)方法



端部を5～10mm程度重ね、圧着します。



接続部をセパレータの上から強く圧着し、平滑にします。



セパレータを180度方向にゆっくり剥離し、完了です。



施工に必要なもの

1. 貼り付け面は、さび、ごみ、繊維、洗剤、油分、水滴などを取り除いてください。
2. 貼り付け面側は極力素手で触らないようにしてください。薄いゴムやポリエチレン製の手袋の着用を推奨します。
3. アルミ防湿パックを開封すると、空気中の水分と反応して硬化が始まります。開封後は目安として30分以内に使い切ってください。再度保存することはできません。